

生活基盤施設耐震化等交付金事前評価調書

計画の概要	計画の名称	長崎県生活基盤施設耐震化等事業計画(水道施設関連事業)		
	計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)		
	交付対象	市町		
	計画の目標	本計画地域においては、更新時期を迎えた水道施設が多く、地震等自然災害が発生した場合の整備が遅れ、非常時には安定した水の確保が困難な状況である。本計画の実施により、計画地域における管路、浄水場及び配水池の耐震適合性の向上を図り、災害に強いまちづくりを目指します		
計画の概要	計画の成果目標 (定量的指標)	計画期間内における管路の耐震適合率の向上(R2年度当初:0% → R6年度末:100%) 計画期間内における浄水場の耐震適合率の向上(R2年度当初:0% → R6年度末:100%) 計画期間内における配水池の耐震適合率の向上(R2年度当初:0% → R6年度末:100%)		
	対象事業	水道未普及地域解消事業(飛地区域、給水区域内無水源、区域拡張) 簡易水道再編推進事業(統合簡易水道) 生活基盤近代化事業(基幹改良) 緊急時給水拠点確保等事業(緊急時用連絡管、大容量送水管、重要給水施設配水管、基幹水道構造物の耐震化事業) 水道管路耐震化等推進事業(水道管路緊急改善事業、海底送・配水管更新事業) 水道事業運営基盤強化推進等事業(遠隔監視システム整備費) 水道事業におけるIOT・新技術活用推進モデル事業		
評価	審査項目	審査細目	審査結果	評価
	I. 目標の妥当性	①上位計画との整合性	「ながさき21水ビジョン」との整合が図られている。	○
		②地域の課題への対応(地域の課題と事業計画の目標の整合性)	「ながさき21水ビジョン」に掲げる掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	○
	II. 計画の効果・効率性	①事業計画の目標と定量的指標の整合性	水道施設の耐震化向上を目指しており、事業計画の目標と定量的指標の整合性が図られている。	○
		②定量的指標の明瞭性	数値的な指標としており、明瞭性が確保されている	○
		③目標と事業内容の整合性	指標が明確で、目標達成に対して客観的な確認が容易であり、整合性が図られている	○
		④事業の効果の見込みの妥当性	計画は十分な事業効果を得られることが確認できる	○
	III. 計画の実現可能性	①円滑な事業執行の環境	計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
②地元の機運		計画に対する地元の機運は高い。	○	